

「特別活動」の事例

個 別 の 人 権 課 題			アイヌの人々		
校 種	高等学校	3 つ の 側 面	知 識 的 側 面	○	
対 象 学 年 等	全学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	◎	
教 科 等	特別活動		技 能 的 側 面		
単 元 名	アイヌ文化講演会				

1 目 標

学校の特別活動における「学校行事」の目標は次の通りです。

全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 概 要

本事例は、特別活動における「学校行事」の中の「文化的行事」の実践の一部です。学習指導要領には、「文化的行事」について「平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。」とあります。

世界には様々な文化があり、各文化にはそれぞれ固有の特徴やよさがあることについて理解を深め、それらを大切にしていこうとする態度を養うことを目的として、アイヌ語やアイヌ文化のよさを発信する活動を全国で展開されている講師を招聘し、「文化の多様性を知ろう～アイヌ語・アイヌ文化を事例として～」をテーマに講演会を開催しました。講師は大学やラジオ番組でアイヌ語講座の講師を務めたり、SNSを通じてアイヌ文化を紹介したりする活動を続けており、自らも北海道平取町出身でアイヌの方です。自分の生き立ちやこれまでの活動を事例としながら、アイヌ語やアイヌ文化についてわかりやすく話をされました。アイヌ語を使ったじゃんけんゲームなども生徒と一緒に実演され、生徒は親しみを感じながら最後まで楽しく話を聴くことができました。

3 人権教育との関わり

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）及び高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）では、社会科、地理歴史科において必ずアイヌの文化を取扱うことが示されており、教育課程の改訂を踏まえつつ、特別活動において当事者の方から直接話を聴く場を設けたことで、これまでほとんどアイヌの文化に接する機会がなかった生徒も、関心を高めながらアイヌ語やアイヌ文化について学ぶことができました。

また、講師が自分のこれまでの人生について自己開示しながら生徒に語り掛けるように話をされたことで、講演の内容を生徒が自分との関わりの中で捉えることができ、自分も他者もどちらも同じようにそれぞれ大切にしていけるべき価値をもっている、ということ改めて確認することができたと思われます。

3つの側面については、次のような内容を育成することができると考えられます。

知 識 的 側 面	人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚
	多様性に対する開かれた心と肯定的評価
	自他の価値を尊重しようとする意欲や態度

4 実際の様子と生徒の感想



講演の最初に、自己紹介を兼ねて、自らが生まれ育った北海道平取町二風谷（びらとりちょうにぶたに）の様子や、自分が幼い頃の生活について話をされました。

講演会の様子



会場にいる生徒と先生の全員で、アイヌ語を使ったじゃんけんゲームをしました。



質疑応答の時には、文字をもたないアイヌ語についての質問や、アイヌに伝わる遊びについての質問が生徒から出ました。

■■■ 3つの側面との関わりが見られる生徒の感想（抜粋）より ■■■

【知識的側面】

- ・今回の講演で、授業の時にしか触れることのなかったアイヌについて詳しく知ることができました。まだ北海道に行ったことがないので、いつか行ってみたいと思います。
- ・これまでアイヌを題材としたアニメを見たことがあり、多少はアイヌのことを知っていたが、講演を聴き、アイヌ文化にはまだまだたくさんの歴史と伝統があることが分かりました。
- ・物にはすべて命や魂が宿っていると考えるアイヌの人々の感性がすごいと思った。

【価値的・態度的側面】

- ・いつか北海道に行ってアイヌ文化に触れてみたいと思っていたので、今度家族で絶対に行きたいです。私もアイヌのことを少しでも広めていけたらいいなと思います。
- ・今回の講演を聴いて、自分の大切にしているものについて、改めて考えることができた。これからもそういうものを大事にしていきたい。